

公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学

令和3事業年度に係る業務の実績に関する評価結果

令和4年8月

公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学評価委員会

## 第1 公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学の令和3事業年度における業務実績評価について

公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学評価委員会は、「公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学に係る評価基本方針」（令和3年8月3日制定）に基づき、令和3事業年度の業務の実績に関する評価を行った。

### 1 評価に当たっての基本的な考え方

- (1) 評価を通じて、大学の教育研究及び法人運営の進捗状況等を分かりやすく示し、県民への説明責任を果たしていくものとする。
- (2) 法人の教育研究並びに組織及び運営についての様々な工夫や特色ある取組を積極的に評価するものとする。
- (3) 次期中期目標・中期計画、法人の組織及び業務運営の見直しの検討に資するものとする。

### 2 評価方法

- (1) 年度評価は、「全体評価」と「項目別評価」により行った。
- (2) 「全体評価」は、(3)の項目別評価を踏まえるとともに、成果目標や法人の特性等に配慮しつつ、中期目標・中期計画の全体的な進捗状況を総合的に評価した。
- (3) 「項目別評価」は、法人による自己点検・評価の結果及び活動目標を基に、当該年度計画に定めた項目ごとに総合的に検証を行い、中期目標・中期計画の達成に向けた進捗状況を確認した上で、「大学の教育研究等の質の向上に関する目標」、「法人の経営に関する目標」、「自己点検・評価及び情報の提供に関する目標」及び「その他業務運営に関する重要目標」の4つの目標別に総合的に評価した。

## 第2 全体評価

### 1 評価結果と判断理由

#### (1) 評価結果

公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学（以下「法人」という。）の令和3年度の業務実績に関しては、全体として「中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」と評価する。

#### (2) 判断理由

法人は、静岡社会健康医学大学院大学が、社会健康医学の視点を取り入れ、これまでの健康長寿の取組を体系化し、健康寿命の延伸に資する先端的な施策や研究などに取り組むことにより、得られた成果や知見を的確に県民の生活に反映させることを目的に、社会健康医学の「知と人材の拠点」となることを目指して計画を策定し、遂行している。

初年度である令和3年度は、中期計画及び年度計画に基づき数々の目標に取り組み、一部については成果を挙げるとともに、次年度以降に具体的な成果を出すための下地づくりに取り組んでいる。

法人の中期目標・中期計画の達成に向けた業務の進捗状況については、「第3 項目別評価」のとおり、「大学の教育研究等の質の向上に関する目標」、「法人の経営に関する目標」、「自己点検・評価及び情報の提供に関する目標」、「その他業務運営に関する重要目標」の4項目について「中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」と認められる。

これらの状況と成果目標の達成に向けた進捗を総合的に勘案し、(1)のとおりの評価が相当と判断した。

### 2 評価に当たったの意見、指摘等

- ・大学の開学初年度かつ法人設立初年度という大変な状況の中で、全体として非常に良い実績を挙げていることを評価する。
- ・実績も知名度もない、開学初年度という状況の中、入学定員の充足を目指し、学生募集等の計画立案・募集活動等に積極的に取り組んだ結果、入学定員充足率 190%という顕著な成果を挙げたことを高く評価する。

〔参考〕項目別評価の結果

1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標	I 特筆すべき進捗状況	<b>II 順調に進んでいる</b>	III おおむね順調に進んでいる	IV やや遅れている	V 重大な改善事項がある
2 法人の経営に関する目標	I 特筆すべき進捗状況	<b>II 順調に進んでいる</b>	III おおむね順調に進んでいる	IV やや遅れている	V 重大な改善事項がある
3 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標	I 特筆すべき進捗状況	<b>II 順調に進んでいる</b>	III おおむね順調に進んでいる	IV やや遅れている	V 重大な改善事項がある
4 その他業務運営に関する重要目標	I 特筆すべき進捗状況	<b>II 順調に進んでいる</b>	III おおむね順調に進んでいる	IV やや遅れている	V 重大な改善事項がある

〔参考〕成果目標一覧

目標	目標	実績
学位取得者の輩出	50人（期間累計）	—

### 第3 項目別評価

#### I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

##### 1 評価結果と判断理由

###### (1) 評価結果

大学の教育研究等の質の向上に関する目標の進捗状況は、「中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」と評価する。

###### (2) 判断理由

大学の教育研究等の質の向上に関する目標について、当評価委員会が検証した結果、年度計画記載の46項目全てが「計画を順調に実施している」と認められた。また、活動目標は、8目標中1目標が「計画を大幅に上回って実施している」、2目標が「計画を上回って実施している」、5目標が「計画を順調に実施している」と認められた。

これらの状況等を総合的に勘案し、(1)のとおりの評価に相当すると判断した。

###### (3) 特に評価する項目

- ・中期目標期間において50人の学位取得者を輩出するため、入学定員を上回る入学者を確保した。(No. 6)
- ・社会健康医学研究により得られた知見や成果を、行政や医療機関などと連携して社会実装する取組を推進し、論文・学会発表を通じて、国内外に積極的に情報発信した。(No. 27)
- ・外部資金を活用した研究や、国内外の大学や研究機関をはじめとする産学官と連携した研究を積極的に推進した。(No. 34)

##### 2 評価に当たっての意見、指摘等

- ・学生との懇談会を通じて授業体制を改善する等、学生目線での運営を行っていることを評価する。引き続き、本学の特性に合った教育研究体制の整備に取り組むことを期待する。
- ・科目履修生に対し、個別に面談して受験を促す等、様々な機会が多様な募集活動を行っていることを評価する。

〔参考〕小項目評価の集計結果

区分	評価対象項目数	SS 計画を大幅に上回って実施している	S 計画を上回って実施している	A 計画を順調に実施している	B 計画を十分には実施していない	C 業務の大幅な見直し等が必要
1 教育	17	0	0	17	0	0
2 研究	15	0	0	15	0	0
3 成果の還元	6	0	0	6	0	0
4 国際交流	5	0	0	5	0	0
5 人材の確保	3	0	0	3	0	0
合計	46	0	0	46 (100.0%)	0	0

〔参考〕活動目標一覧

区分	活動目標	目標	実績	評価
1 教育	入学定員充足率	100%（期間平均） 100%（年度）	期間平均 190%（190%/1年） R3実績 190%（19人/10人）	SS
	教員のFD研修参加率	毎年度 100%	R3実績 100%（19人/19人）	A
2 研究	論文件数及び学会等発表件数	120件（期間累計） 20件（年度）	期間累計 61件/120件 R3実績 61件/20件	S
	外部資金獲得件数	20件（期間累計） 3件（年度）	期間累計 10件/20件 R3実績 10件/3件	S
3 成果の還元	連携協定締結団体数	5団体（期間累計）	期間累計 2団体/5団体 R3実績 2団体	A
	研究成果の施策反映数	1件/年度（期間平均） 1件（年度）	期間平均 1.0件（1件/1年） R3実績 1件/1件	A
	シンポジウム・公開講座の開催回数	毎年度 3回	R3実績 3回/3回	A
4 国際交流	交流協定締結数	1件（期間累計）	期間累計 0件/1件 R3実績 0件	A

## II 法人の経営に関する目標

### 1 評価結果と判断理由

#### (1) 評価結果

法人の経営に関する目標の進捗状況は、「中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」と評価する。

#### (2) 判断理由

法人の経営に関する目標について、当評価委員会が検証した結果、年度計画記載の11項目全てが「計画を順調に実施している」と認められた。また、活動目標は、2目標中1目標が「計画を上回って実施している」、1目標が「計画を順調に実施している」と認められた。

これらの状況等を総合的に勘案し、(1)のとおりの評価に相当すると判断した。

#### (3) 特に評価する項目

- ・競争的資金や産学民官連携による共同研究費・受託研究費などの外部資金の獲得、大学の実績を通じた寄附金の確保等、積極的に自己収入の確保に努めた。

(No. 66)

### 2 評価に当たったの意見、指摘等

特になし。

〔参考〕小項目評価の集計結果

区分	評価対象項目数	SS 計画を大幅に 上回って実施 している	S 計画を 上回って 実施している	A 計画を順調に 実施している	B 計画を十分 には実施 していない	C 業務の大幅な 見直し等が 必要
1 業務運営の 改善	8	0	0	8	0	0
2 財務内容の 改善	3	0	0	3	0	0
合 計	11	0	0	11 (100.0%)	0	0

〔参考〕活動目標一覧

区分	活動目標	目標	実績	評価
1 業務運営の改善	職員のSD研修参加率	毎年度 100%	R3実績 100%(17人/17人)	A
2 財務内容の改善	外部資金獲得件数【再掲】	20件(期間累計) 3件(年度)	期間累計 10件/20件 R3実績 10件/3件	S



### Ⅲ 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標

#### 1 評価結果と判断理由

##### (1) 評価結果

自己点検・評価及び情報の提供に関する目標の進捗状況は、「中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」と評価する。

##### (2) 判断理由

自己点検・評価及び情報の提供に関する目標について、当評価委員会が検証した結果、年度計画記載の3項目全てが「計画を順調に実施している」と認められ、この状況を総合的に勘案し、(1)のとおりの評価に相当すると判断した。

##### (3) 特に評価する項目

- ・大学のホームページやソーシャルネットワークサービスなどの広報媒体を活用して、教育研究活動や地域貢献活動に関する情報などを積極的に発信した。  
(No. 70)

#### 2 評価に当たっての意見、指摘等

- ・開学初年度に、募集定員を大幅に上回る応募があったことは、広報活動を通じて本学の魅力を伝えた成果であり、関係者の広報活動に対する努力を高く評価する。引き続き広報活動に取り組み、県民目線で、本学の魅力を発信していくことを期待する。

#### 〔参考〕小項目評価の集計結果

区分	評価対象項目数	SS 計画を大幅に上回って実施している	S 計画を上回って実施している	A 計画を順調に実施している	B 計画を十分には実施していない	C 業務の大幅な見直し等が必要
1 評価の充実	1	0	0	1	0	0
2 情報の公開・ 広報の充実	2	0	0	2	0	0
合計	3	0	0	3 (100.0%)	0	0

## IV その他業務運営に関する重要目標

### 1 評価結果と判断理由

#### (1) 評価結果

その他業務運営に関する重要目標の進捗状況は、「中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」と評価する。

#### (2) 判断理由

その他業務運営に関する重要目標について、当評価委員会が検証した結果、年度計画記載の9項目全てが「計画を順調に実施している」と認められた。また、活動目標は「計画を順調に実施している」と認められた。

これらの状況等を総合的に勘案し、(1)のとおりの評価に相当すると判断した。

#### (3) 特に評価する項目

- ・全ての教職員を対象として全般的なハラスメント防止研修を行ったほか、アカデミックハラスメントに特化した研修を全教員向け及び相談担当者向けにそれぞれ行い、ハラスメントの防止に努めた。(No. 77、78)

### 2 評価に当たっての意見、指摘等

特になし。

〔参考〕小項目評価の集計結果

区分	評価 対象 項目数	SS 計画を大幅に 上回って実施 している	S 計画を 上回って 実施している	A 計画を順調に 実施している	B 計画を十分 には実施 していない	C 業務の大幅な 見直し等が 必要
1 施設・設備 の活用、管理	1	0	0	1	0	0
2 安全管理	5	0	0	5	0	0
3 社会的責任	3	0	0	3	0	0
合 計	9	0	0	9 (100.0%)	0	0

〔参考〕活動目標一覧

区分	活動目標	目標	実績	評価
3 社会的責任	コンプライアンス・ハラ スメント研修の実施回数	毎年度1回	R3実績 3回/1回	A